



1101ヵ  
アーン地、  
米原、  
原

●掲載作家

オノ・ヨーコ

河口龍夫

鈴木ヒラク

萩原朔太郎

福田尚代

ほか

●テキスト

石川九楊

谷川渥

平川克美

王舟

文月悠光

ほか

ことばは、かたちを変えて生き延びようとする。  
絵画の中で。写真の中で。彫刻の中で。文学の中で。

ヒックリコ  
ガックリコ  
ことばの生まれる場所  
コンセプトブック



対談

石川九揚×鈴木ヒラク

## 文字の起源



文字が生まれる瞬間の知覚や現代をとらえ未来を映す「書く」と「描く」について。書家の石川九揚と、ドローイングやインスタレーションなど多岐に渡って「かく」を主題とするアーティスト鈴木ヒラクの思考の線を辿る。

石川九揚、鈴木ヒラク 対談

人はかつて、あるものの表面上で鋭いものの先端を（引っ張る）ことによってラインを（書いて）write いたのだ。そのときドローイングとライティングは、身体動作……とその動作にあらわれるラインという関係にあるのであって、今日理解されているように、意味も価値も根本的に異なる二種類のラインなのではない。

ティム・インゴルド『ラインズ 線の文化史』（二〇一四年、左右社 工藤善訳、八〇頁）